

# 新任党幹部に聞く

## 高木陽介・国会対策委員長



——新任の抱負を。  
高木陽介国会対策委員長  
国会は民主主義を支える土台

です。与野党それぞれの主張があっても、熟議を尽くし、合意形成に努めなければなりません。

——自民党や野党との議論を通じて公明党の主張を反映させ、党員、支持者の皆さま、国民の皆さまの理解を得られる国会運営を心掛けていきます。そのためにも、生活現場の声を大切にしたいと改めて決意しています。

——国会論戦で公明党の持ち味をどう生かしていきますか。  
高木 「生活現場の音が届く政党。これが公明党の一番の強みです。地方議員はもろに、党員、支持者の皆さまとのネットワークを通じて多様な声をキャッチし、国が解決すべきテーマについては国会

で提起することが公明党の役割です。具体的な政策を提案するだけでなく、最終的に予算や法律という形にして実現できるような最後の仕上げを担う国会で結果を出します。

——今秋に予定されている臨時国会への対応は。  
高木 まず、西日本豪雨や北海道胆振東部地震など相次ぐ自然災害の復旧対応を急ぐため、今年度補正予算案を早期に成立させます。

# 合意形成へ熟議尽くす

## 「現場の声届く党」の真価発揮

徹底してフォローしていくことも公明党の持ち味です。実際の生活現場で制度・政策の効果が発揮されず、不十分な点があれば、再び国会

【略歴】 党選挙対策委員長などを歴任。同東京都本部代表。元経済産業・内閣府副大臣。衆院当選 8 回。創価大学卒。58 歳。